

12月12日からの大雪等にかかる被害状況について（第2報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	12月9日	「異例の降雪に対する国土交通省対策本部」
近畿地方整備局	12月12日 18:00	注意体制
国土地理院	12月12日 13:30	注意体制

2. 気象状況

(1) 積雪の深さの状況(12月13日8時現在)

○北・東日本日本海側では、積雪深が平年を上回っている所が多い。

(2) 積雪の観測値(12月13日8時現在)

○道府県ごとの積雪深最大地点を抽出し、降順に並べ替えた上位10位

◎ 谷峠(たにとうげ)(石川県白山市)	152cm	
酸ヶ湯(すかゆ)(青森県青森市)	130cm	平年比 149%
◇ 横岳(よこだけ)(岩手県奥州市)	121cm	
◇ 猿倉(さるくら)(長野県白馬村)	118cm	
朱鞠内(しゅまりない)(北海道幌加内町)	111cm	平年比 121%
◇ 悪沢(水機構)(わるさわ)(群馬県みなかみ町)	106cm	(12月13日06時)
◆ 妙高笹ヶ峰(みょうこうささがみね)(新潟県妙高市)	81cm	(12月13日07時)
◇ 横川ダム(よこかわだむ)(山形県小国町)	72cm	
九頭竜(くずりゅう)(福井県大野市)	67cm	平年比 447%
長滝(ながたき)(岐阜県郡上市)	61cm	平年比 610%

※ データを即時的に収集し、その品質の確認が可能な以下の積雪計データの中から抽出。

気象庁アメダス(無印、322か所)、

国土交通省データ(◇印、130か所)、防災科学技術研究所データ(◆印、21か所)、

自治体データ(◎印、162か所)

※ 平年比(気象庁アメダスのみ): 平年値(1981年から2010年までの30年間のデータを平均した値)との比

(3) 今後の天気の見通し及び注意・警戒事項(12月13日9時現在)

○北日本から西日本の日本海側を中心に広い範囲で雪が降っており、明後日(15日)にかけて大雪のおそれがある。東北地方から西日本にかけての太平洋側でも、山沿いや山地を中心に大雪のおそれがある。

○大雪による交通障害などに警戒。なだれ、電線や樹木への着雪にも注意。

○なお、来週17日から19日にかけて、北日本と東日本から西日本の日本海側を中心に大雪や猛ふぶき、暴風、高波等、大荒れの天気となるおそれがある。

○各地の气象台が発表する警報や気象情報等に留意。

3. 国土交通省の対応

○事務次官以下の関係局長等会議を開催し、週末の大雪への対応について確認(12月12日)

○国土交通省災害対策連絡調整会議を開催し、今後の気象状況と週末の大雪への対応について確認。(12月12日)

○国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める。

4. 気象庁の対応

○気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める。

5. 所管施設等の状況

○道路(12月13日8:30現在)

【高速道路】

被災による通行止め：なし
※積雪等による通行止め：なし

【直轄国道】

被災による通行止め：なし
※積雪等による通行止め：なし

【補助国道】

被災による通行止め：なし
※積雪等による通行止め：なし

【都道府県・政令市道】(1区間)

12月12日 8:30
(計1区間)
徳島県 1区間(積雪による通行止め)

【孤立情報】(なし)

○河川、管理ダム、雪崩関係、水管理・国土保全局所管の海岸保全施設、鉄道関係、自動車関係、海事関係、港湾関係(海岸保全施設を含む)、航空関係、物流関係、下水道、公園、宅地、公営住宅関連、官庁施設、観光関係について、現時点で被害情報なし。(12月13日9:00現在)

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461